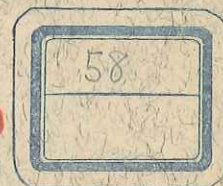


NOTE BOOK

CONTAINING BEST RULED FOOLSCAP



たんぽぽ
のかんさつ

4の2

武田聖子

敬学会賞第十九回入選作品

1971年11月



意匠登録 No.151492

目次

ページ

(2) 研究をしたわけ

(3)~(5) 花

(6) くき(花梗)

(7) 根

(8) 根を七刀ってさしきした。

(9) =

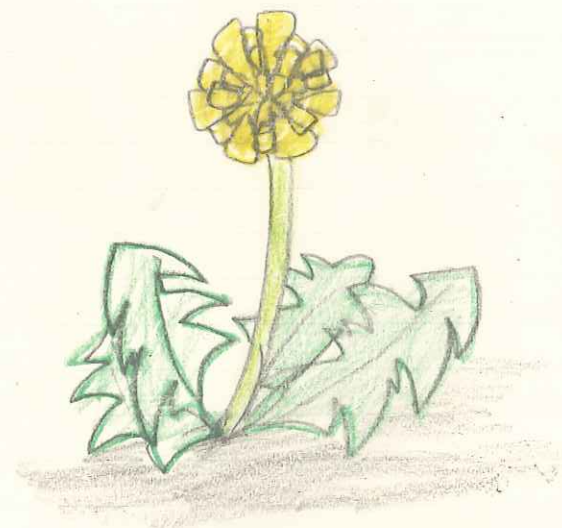
(10) 葉

(11) くき

(12) たんぽぽのたね

(13)

(16) かんそう



研究をしたわけ

わたしは、二中を通りかかった時、石がきの
 あいだから たんぽぽの花がさいているのを、
 見つけました。あまりきれいなので、とってしまいました。
 すると、白いきゅうにゅうのようなしるがでできました。
 ふしぎだなあと、思いました。
 手で、花びらを、ナイ/まいとと、さきがまるまった
 おかしなものかづいているので、へんだなあと、思い、
 おかあさんに、聞きました。おかあさんは「あ、なんだ
 ろうね」とにこにしながらおっしゃいました。わたしは
 なにだろうかと思って、たんぽぽを、
 根からとって、しらべてみることにしました。

花 (キク科)

研究に使ったもの

- ① 図かん
- ② けんびきょう
- ③ かんそうざい



わたしの調べたたんぽぽのくきには、
花びらが62まいっていた。

1つの花に、花びらが、62まいついで
いたと思ったのが、花びらでなく、1つの
花であることがわかった。



そのわけ



ピンセットで1まい/まいの花びらを
ていねいにとった。よく見たら、めしべの
ようなものがあつた。もう1つの花びら
も、おなじなので、びっくりした。
どれも全ぶおなじだ。これはきっと
1つの花のあつまりだと思う

半分に切った図



セカってみてわかったこと、

1. たくさんのお花のもとにたくさんのお花のようものがついていて、これは、めしべのもとについているお花であることがわかった



2. 花には、めしべ、

おしべがたいていある
だが、たんぽぽのめしべ
はみつかったが、おしべ
は見つからない。

ていねいにとってしらべ
たが、左上の図にしか

見えなくて、おしべはどこにあるのか、
とうとう見つけられなかった。

そこで、おかあさんに聞きました。

1. まず、ピンセットで、花をさわらないで

たねのところからしずかに1つの花を
とって、ガラスの上にのせて見てみると
わかるでしょうと、おしえてくださった。

2. めしべと、花びらのわれめから、小さな

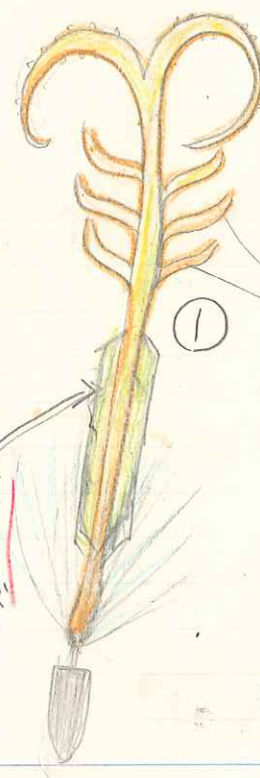
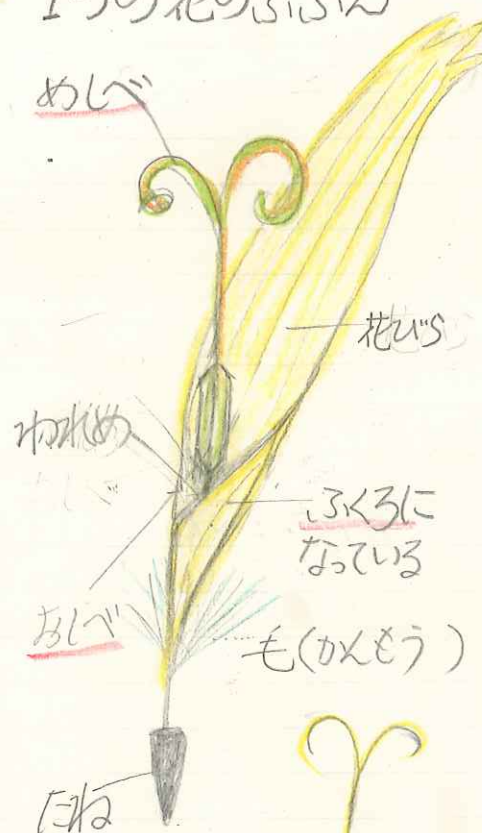
1つの花のふぶん

とげのようなものが見つかった。

めしべ

あまり小さくて、はっきりしないので、
けんびきょうでしらべた。

それは、いままで、見つからなかった
おしべであることがわかった



① めしべをけんびきょう
で見た。(100倍です)

① とげ(目では見えない)

② おしべをけんびきょうで
見た。ふつうは、①図の
ようにくっついて見えるが、

②のように、五つのふくろが

糸でくっついていて

くき(花梗)

- 花のえのことを、花梗という
- 花梗は、ほそながい、ストローのようにならいて、全体が、^{わたような}毛におうわれている。色は、きみどり。
- 花梗をおると、白いつゆが出る。こ水を、乳えきという
- 中は、からで、ほそいたで、すじがとおっている。

切ってみる

- たんぽぽをとって、花梗の先に3つの切れ目を入れて、水に入れると、クルッと、まるまるのがわかる。



ア図のように、さくらの実をのせてふくとクルクルまわって、おもしろいおそびかができます。

- 花梗を、2cmの長さに切って、たてに3つにわって水に入れると、クルクルまわって、ビーズのたまごようになる

根

- たんぽぽの根は、ほかの草花とちがって、くきより根のほうが長い。根をほりだすのに長くて、クワなどを使ってとりました。
- 長さは、25~30cmのものがありました。長いのは、石かきや、さり道などにはえているものばかりでした。田、畑にはえているたんぽぽの根は、みじかく、えだがたくさんでいていた。



- たんぽぽの根は、水分のある所までのびていくことがわかった。
- たんぽぽの根を、3cmぐらいずつに切って土にうえた。(さしむよう) 6月30日にうえて、7月6日に葉が出た

根を切ってさしきした

6月30日

根を、2~3cmぐらにち切って、土に植えた。

朝はん水をかけた。

7月6日

青い葉が出た。

7月13日

葉が4まいになった。長さは、3センチメートル。

7月20日

さしきした根、全部からたくさんの葉が出て
ふつうのたんぽぽと、おなじようになった。

8月14日

ほりだした。

根のつきぐあいを見るためにほりだした。

畑のたんぽぽとくらべた。

畑のたんぽぽの根は、まえにしらべたように

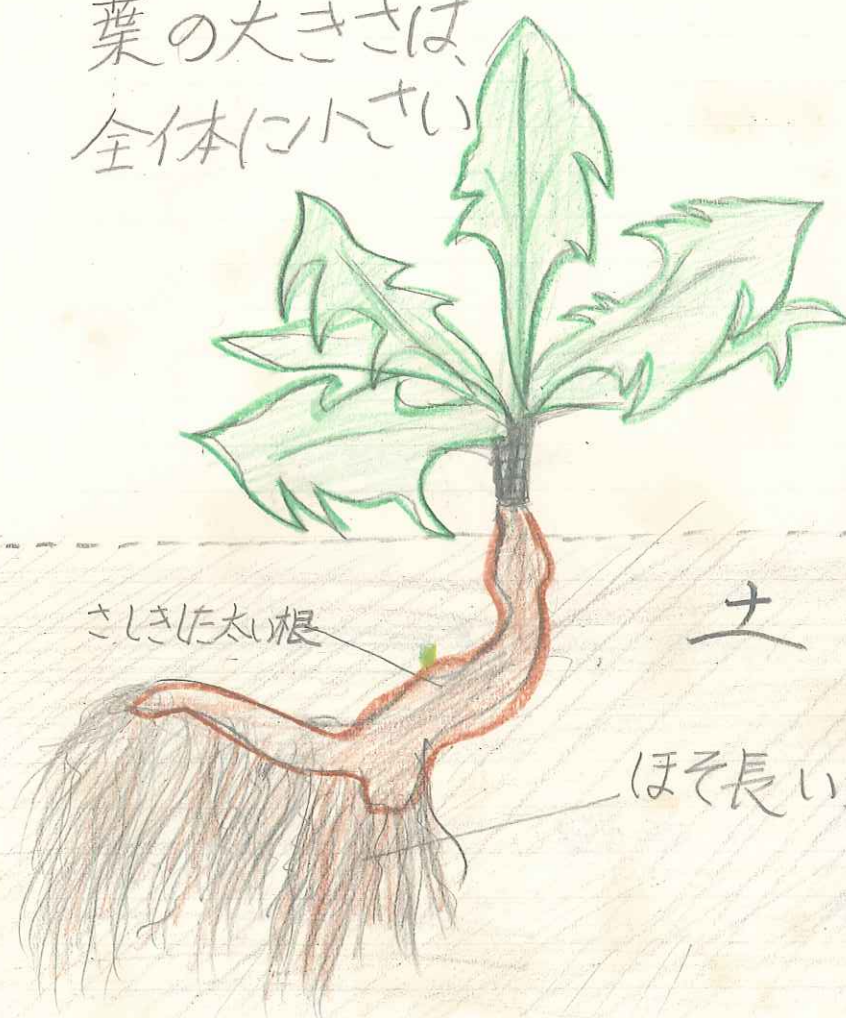
ふとく、たぼうのようなもので、

少しひげかあっただけだった

でもさしきをした根からは、たくさんのほそ長い

ひげ根が出ていた。

葉の大きさは
全体に小さい



さしきした太根

土

ほそ長い根、

さしきをした時、葉より根のほうが、出るのは、
おそいということか。ふつうの植物とちがう。
ほり出したたんぽぽを、かんそうざいに入れて、
かんそうさせました。

葉

- 葉は、ぎざぎざになっている
- 葉は、ほそ長く、まん中を、ふといすじが、とおっている。
- ふといすじのまわりには、白い、わたのような毛がたくさんある
- 葉には、五角形のような形をした、ほそい、すじがたくさんある。
- 葉は、くきから出ているようだが、根につながっている。これは、ほかの植物とちがうことです。

くきの中を、葉線がとおっているのです。よう分ち、根からきます。

1まいの葉

五角形すじ

白い毛

太いすじ



くき

- くきの長さは、1~2cmぐらいです。
- くきに、キズをつけると、白い、乳液がでます。
- くきには、よこのすじが、2、3本あって、くきを半分に切ると、中のほうが、少しくぼんで見えます
- ほかの植物とちがって、くき(は)とてもかたくできています。



- みむかいくきに、葉が、たかいちかに、出ています。上から見た図

それで、たんぽぽの葉は、ちょっと見ただけでは、おなじ所から出ているように、見えます。

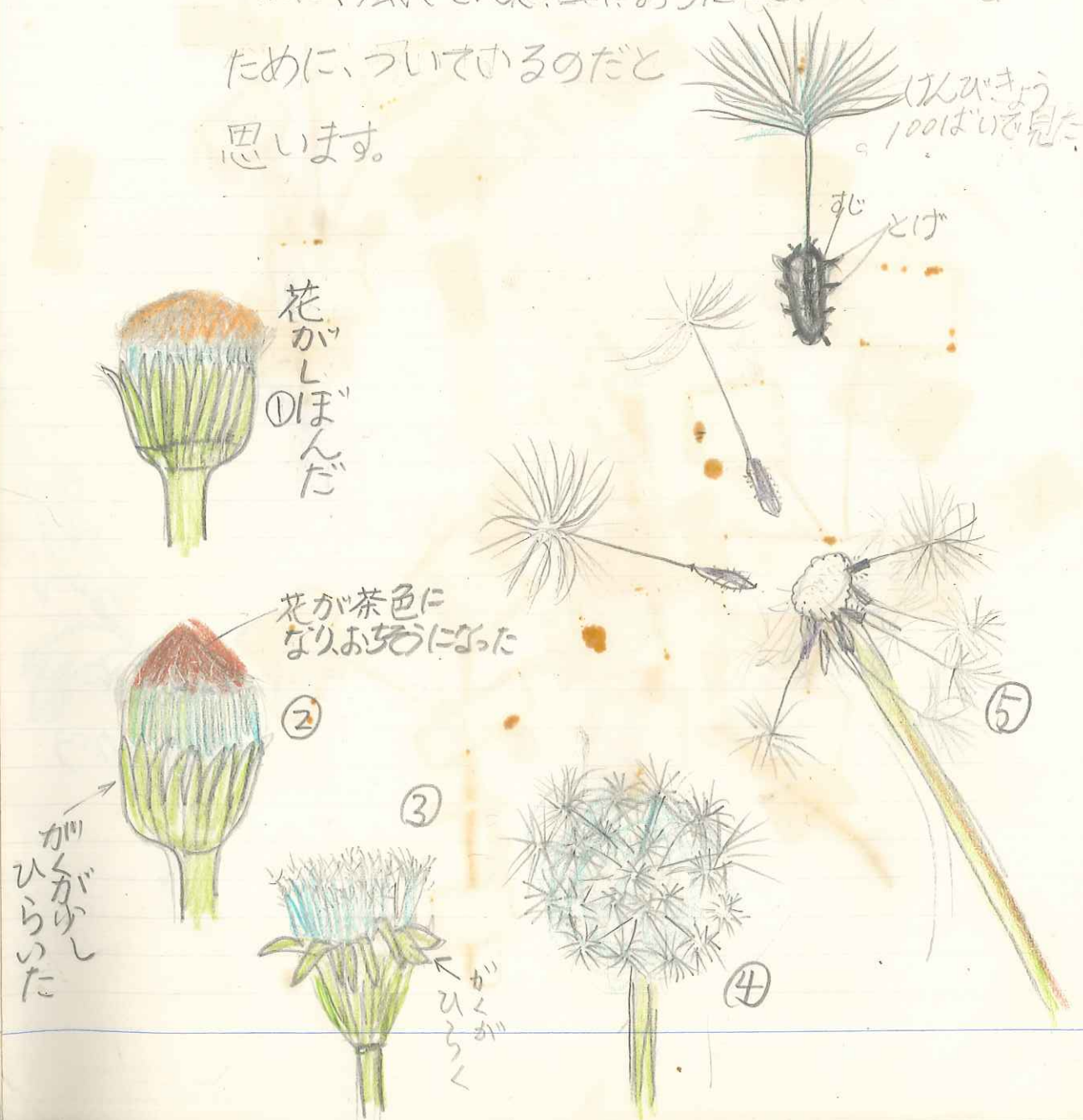


くぼんで見える

- 葉は、1つ1つのすじのわきめから、たかいちかに、出ている。こういうところか、ほかの植物とちがうところです。

たね

- たねには、わたもかっている。
- たねには、5本くらいたてのすじがあり、
そこから、数本の小さなとげがでています。
これは、風でとんで、土におちたときに、ひっかかる
ために、ついてくるのだと
思います。



たねをまいた

7月30日に、たんぽぽのたねをまいた。

- 8月3日、めか出た。
- 8月6日 葉は、0.5cmにのびた。
- 8月13日 2cm



(14)



9月10日

9月19日

(15)



9月30日

花についてわかったこと

- ①始め、花びらだと思っていたのが、1つの花のあつまりであった。
- ②1つの花には、めしべ、おしべ、たね、花びらなどわかれてまとまっている。
- ③花びらのもとの方は、ふくろになっている。
1つの花に、1まいの花びらしかない。
- ④ふつうの植物を見ると、おしべ、めしべが、はっきりとくべつがつけ水と、たんぽぽは、めしべは見つかったが、おしべはよく、くべつがつかなかった。

くき(花梗)についてわかったこと

- ①花梗の中は、からで、フツツとおると、白い、乳液が出た
- ②花梗を切って水に入水ると、クルッとまるまるせいしつかある

根についてわかったこと

- ① 根は、水気のある所までのびる
- ② 根は、ごぼうのようなものです。
- ③ 根は、じょうろで、足でふんだくらいでは、おれません
- ④ 根を、2cmぐらいに切って、土にうえておくと、葉がでます

葉と根^{くき}についてわかったこと

- ① 葉は、ぎざぎざになっている
- ② 葉は、みじかいくきのすじの所から、たがいちがいに 出ている
- ③ 葉には、5角形のすじがたくさんある

たねについてわかったこと

- ① たねには、数本のみじかいとげがある。
- これは、どこまでも、風にとはされないで、
ようについている、

・たんぽぽのふえかたは、たねが、風でちらばって
ふえることがわかった。

感 そ う

・始めはたんぽぽの花など、かんたん
しらべられると思ったのが、やってみれば、
なかなかむずかしかった。たんぽぽの花びら
をさわると、ピツァと、つぶれてしまい、どうしたら
よいかくろうして、ピンセットで、いていぬいに
とったり、けんぴきょうで見たりして、しらべました。
しらべてみると、いろいろなことが、わかって、
たいへんおもしろい勉強になったと思います